

殺生石～黒尾谷山 (宇都宮ハイキングクラブ)

目的 那須連山の新緑と展望を楽しむ

2015年5月31日(日)

参加者 19名

CLE 藤 S男 SLN 科 T子

歩行時間 5時間30分

参加者 男性：10名 女性：9名

大谷(5:30)⇒那須 IC⇒殺生石 P (6:30)⇒車回し (モミノキ平) ⇒殺生石 P (7:05)・・・
S分岐 (8:15)・・・温泉跡(9:15)・・・牛ヶ首(10:15)・・・日ノ出平(10:31)・・・南月山(10:55
～11:25)・・・黒尾谷山(12:25)・・・モミノキ台(13:30～14:10)⇒温泉入浴⇒黒磯板室 IC⇒大
谷(16:25)

概要 大谷を定刻に出発。下山箇所にて車回しして、硫黄臭のする殺生石の前から高雄別荘地脇のミズナラ新緑の登山道を登る。少し風があり肌寒い。天候が良ければ展望のきく岩の上に立てるのだが・・・前方の尾根には黒い雲が見え小雨が降っているようなので、早々のカッパを着るこことした。P1488の北側の平坦な箇所を過ぎると、硫黄の臭いがして、「飯盛温泉跡」に着く。建物の名残にあちこちに石垣が散在している。登山道は窪に沿ってミネザクラ等の灌木と石ガラ縫って登って行く、更に涸れ沢を北西に登ると、牛ヶ首のガレバが見えてくる。灌木帯を抜けると強風である。稜線は姥ヶ平の窪から吹き抜ける烈風で飛ばされそうである。稜線から南東面に離れた所に一本のミネザクラが花盛りである。この強風が無ければ、綺麗なミネザクラを堪能できたかもしれない。南月山への稜線は広々としていて那須連山の展望も素晴らしい。昼は南月山の祠前の灌木を風除けにして食べる。下るにしたがって風がなくなり晴れて来た。このコースは入山者の少ない静かな山歩きの楽しめる場所である。南月山からの下りと、黒尾谷山への登りは、シロヤシオ花盛りで目線で堪能することが出来て十分に楽しめた。4等三角点の下の急斜地をまわり込み少し下ると、もみの木台別荘地に着く。板室温泉で入浴してから、全員無事大谷駐車場に帰還した。県連40周年記念40座山行指定コースであったが、他のクラブからの参加は無かった。